

土地の所在

高松市木太町東新開3036番5, 3047番, 及び地先水路・農道

土地利用計画図

開 発 許 可
年 月 日

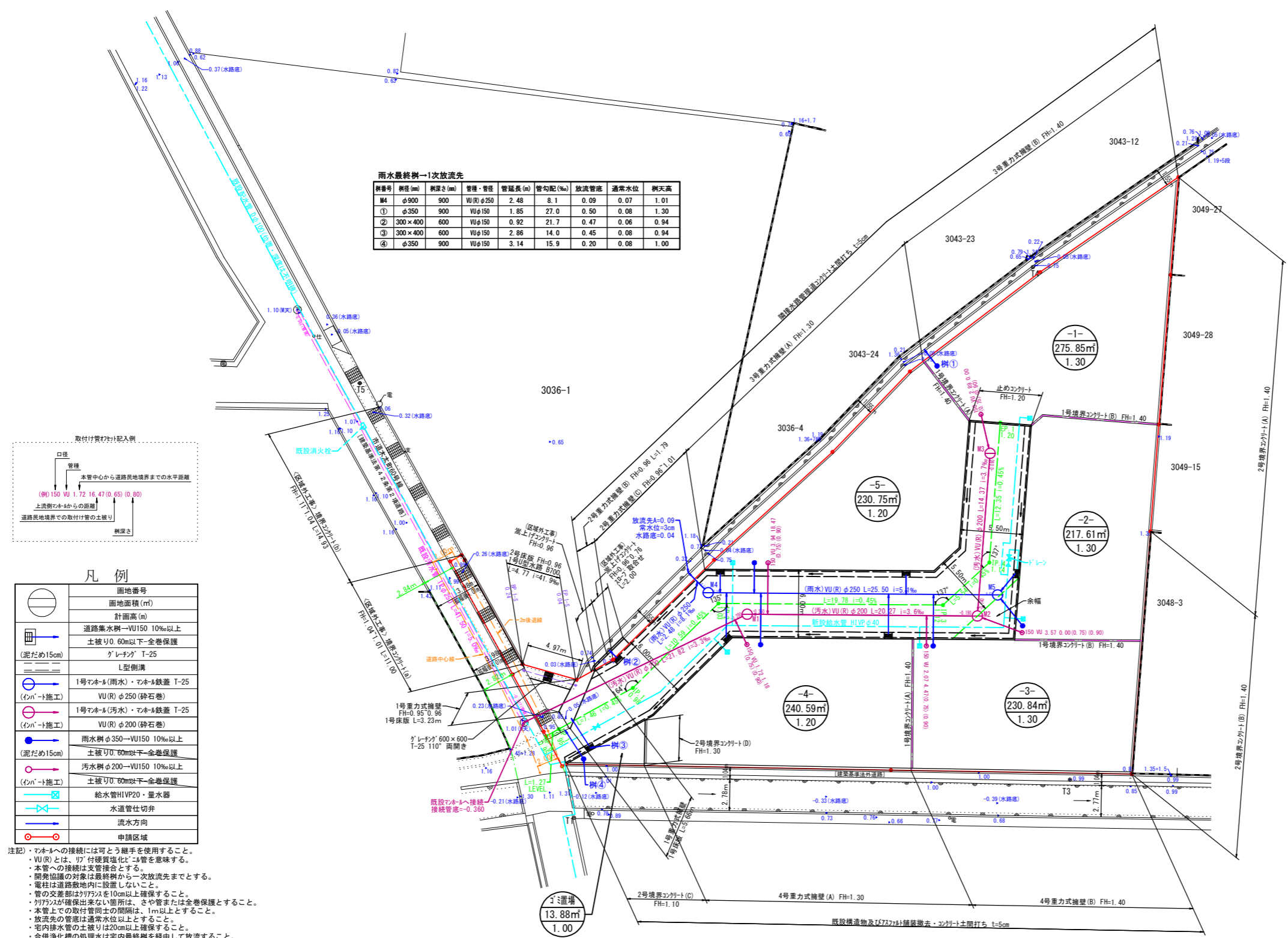
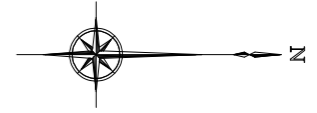
第 平成
1 年
号 月
日

申 請 者

株式会社フロムファースト
不動産情報センター
代表取締役 佐野 力

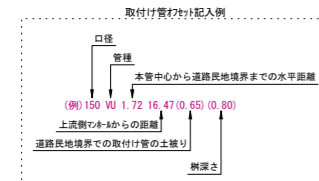
住所・氏名
作 製

高松市三条町式七八番地壹式
株式会社高松合同企画
土地家屋調査士・測量士 野田 明良



雨水最終樹→1次放流先

例番号	幹径 (mm)	幹深さ (mm)	管種・管径	管延長 (m)	管勾配 (%)	放流管底	通常水位	樹天高
M4	φ900	900	VU(R) φ250	2.48	8.1	0.09	0.07	1.01
①	φ350	900	VU φ150	1.85	27.0	0.50	0.08	1.30
②	300×400	600	VU φ150	0.92	21.7	0.47	0.06	0.94
③	300×400	600	VU φ150	2.86	14.0	0.45	0.08	0.94
④	φ350	900	VU φ150	3.14	15.9	0.20	0.08	1.00



凡 例

○	面地番号
□	面地面積 (m ²)
—	計画高 (m)
→	道路集水樹-VU150 10%以上
→	土被り0.60m以下-全巻保護
(泥だめ15cm)	グレーチング T-25
—	L型側溝
○	1号マホク(雨水)・マホク鉄蓋 T-25
(Vn'→施工)	VU(R) φ250 (砕石巻)
○	1号マホク(汚水)・マホク鉄蓋 T-25
(Vn'→施工)	VU(R) φ200 (砕石巻)
○	雨水樹φ350-VU150 10%以上
(泥だめ15cm)	土被り0.60m以下-全巻保護
○	汚水樹φ200-VU150 10%以上
(Vn'→施工)	土被り0.60m以下-全巻保護
→	給水管HIVP20・量水器
→	水道管仕切弁
→	流水方向
○	申請区域

注記
 ・マホクへの接続には可とう継手を使用すること。
 ・VU(R)とは、'R'付種別強化パイプ管を意味する。
 ・本管への接続は支管接続とする。
 ・開発協議の対象は最終樹から一次放流先までとする。
 ・電柱は道路敷地内に設置しないこと。
 ・管の交差部はリフトスリを10cm以上確保すること。
 ・リフトスリが確保出来ない箇所は、さや管または全巻保護とすること。
 ・本管上での取付け管間隔は、1m以上とすること。
 ・放流先の管底は通常水位以上とすること。
 ・宅内排水管の土被りは20cm以上確保すること。
 ・合併浄化槽の処理水は宅内最終樹を経由して放流すること。
 ・図面内の高さ標記は全てIP表示(標高)である。
 ・開発区域界には、構造物または金属線などで境界明示をすること。
 ・各区分における予定建築物は一戸建ての住宅とする。

縮 尺 1 : 4 0 0